

京都モデルフォレスト協会 平成25年度事業報告

平成 25 年度は以下の 3 点を重点的に実施しました。

- 1 モデルフォレスト運動のセカンドステージの取組として、府民参加型のモデルフォレスト運動を推進（森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活用、モデルフォレスト DAY）
- 2 関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付金等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実
- 3 全国育樹祭の京都府での開催（平成 28 年）に向けて府内での機運を高めるため、モデルフォレスト運動を広く PR

1 京都モデルフォレスト運動の普及啓発

(1) 林野庁の新規事業「森林・山村多面的機能発揮対策」交付金制度の運営

地域住民等の力で里山林の保全管理や資源利用、森林環境学習を実施することにより、水源の涵養、山地災害の防止等、森林の有する多面的機能の発揮を目的とする林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」交付金制度が創設され、当協会が京都府の取扱団体（地域協議会）となり、府内各地の住民団体や森林ボランティア団体等に対し、今年度から 3 年、交付金を交付する制度を開始しました。

平成 25 年度は新たに設立された住民団体や森林ボランティア団体等 65 団体が里山林保全、竹林整備、森林資源利用、森林環境学習等の各タイプの活動に取組み、この活動により 232.5ha の地域の里山林保全・竹林整備・森林資源利用活動が行われ、また、約 4,100 人の府民が森林の自然観察等の環境学習や林業体験に参加し、幅広い府民参加によるモデルフォレスト運動が実現しました。



(2) 第2回「森林・林業・木材産業京都会議」、モデルフォレスト運動推進大会の開催(3/3)

森林保全や林業から木材流通、住宅建築等に取り組む企業や団体など森林・林業に関する川上から川下が一体となって府内産木材の利用拡大と森林の整備を進めるため、昨年度に引き続き「森林・林業・木材産業京都会議」を当協会、京都府並びに関係団体の共催によりルビノ京都堀川において開催しました。

川上から川下まで関係者が一堂に会する取組で関係者約 400 人の参加がありました。



分科会としてモデルフォレスト運動推進大会、森林・林業活性化大会、木材利用拡大大会を開催。このうちモデルフォレスト運動推進大会ではモデルフォレスト運動参加企業によるパネルディスカッションを行いました。



(3)木工体験行事(10/12、3/30)、秋の森林体験ツアー(11/9)を開催

(公社)国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド事業」の支援を受け、会員や府民の方々等に森林に親しんでもらい、京都モデルフォレスト運動への理解を深めていただくことを目的に、木工体験行事と森林体験ツアーを開催しました。



木工体験行事では、木の持つ温かさ、香り、肌触りを感じてもらい、人工林の間伐や地域の木を使うことの大切さを知ってもらうために、お子さんと保護者の方を対象に、10月12日には山村都市交流の森にて府内のスギ・ヒノキの間伐材を使った時計・スツール作り(参加者11名)を、また3月30日には京都市等と共に、平成の京町家普及センターにて、府内のスギ及び青竹の間伐材を使ったマイ箸づくり(参加者26名)を行いました。

秋の森林体験ツアーでは、京都市左京区花脊にある樹齢1000年超の伏条台杉群を訪ねました。37名に御参加いただき、伏条台杉の偉大さや巨木が残る森林の心地よさを感じていただくとともに、地球温暖化による森林への影響等、森林の抱える問題を知っていただきました。

(4) 府内一斉モデルフォレスト活動期間「モデルフォレスト DAY」の設定

京都モデルフォレスト運動10周年の節目(平成28年)に開催の「全国育樹祭」に向けて、府民参加の裾野を更に拡大するため、府内一斉モデルフォレスト活動期間「モデルフォレスト DAY」を設定しました。

10月1日から11月30日までの期間中、31企業・団体に賛同いただき、約1,000人の皆様に森づくり活動に参加していただきました。



また 10 月 6 日にキックオフイベントとして、「京銀ふれあいの森」にて記念植樹・森林整備活動（参加者 70 名）を実施しました。

また森林保全シンポジウムでは、「持続的な森林環境の保全と市民役割」をテーマにカナダ・ケベック州ラバル大学教授とインド政府環境森林省課長による特別スピーチや森林ボランティア団体の皆様等によるパネルディスカッションを開催（参加者 80 名）しました。



(5)「京都緑のこどもサミット」を開催(7/30)

全国育樹祭に向けて子どもたちの森林への理解や自然を大切にする心を育むため、京都府と共に「京都緑のこどもサミット」を府民ホールアルティにて開催し約 300 名にご参加いただきました。緑の少年団による活動発表、独立行政法人森林総合研究所主任研究員の深山貴文氏による講演「森と空とのつながり ～最近わかってきた森林のはたらき～」、米村でんじろうプロダクションによる「緑と科学のサイエンスショー」を行いました。



(6) 北海道下川町と協定締結(8/6)、ケベック木材製品輸出振興会と覚書締結(1/23)

- ・ 林業が基幹産業で木質バイオマスによるエネルギーの地産地消を目指す北海道下川町とパートナーズ協定を札幌市で締結し、情報交換の強化や人材交流を目指すこととなりました。



- ・ 持続的な森林環境保全と森林資源の活用についての協力関係を深めることを目的に、2008 年 4 月にケベック木材製品輸出振興会と締結した「森林環境保全等に関する覚書」を元に、更に協力関係を進めるとともに、全国育樹祭に向けて友好交流を深めるため、新たな覚書を締結しました。



(7) 広報誌『以森伝心』の発行、HP等での情報発信

- ・ 森林づくり活動への府民参加の拡大を目指し、広報紙「以森伝心」を毎月発行し、会員の皆様に協会の取組状況のお知らせや府内で行われる森林に関するイベント、森林づくり団体が行う活動報告等をお届けしました。ボランティア「チーム以森伝心」の皆様に森林を生業にする人々の取材記事や森林の楽しみ方についての記事を作成していただき、また表紙は毎月、京都森林インストラクター会の皆様に府内の身近な木を御紹介いただきました。
- ・ 協会HP (<http://www.kyoto-modelforest.jp>) では協会の活動趣旨や取組状況、企業等会員団体が行う森づくり活動の報告、イベント等のお知らせなどを情報発信しました。その他、会員団体や森づくり団体からの依頼を受け、森林関連イベントやボランティア募集の案内をメール配信しました。
- ・ 定時総会(5/21)の記念講演として、元林野庁長官で協会顧問の小澤普照氏から「京都府の森林・林業、モデルフォレスト運動への期待」と題して講演をいただきました。

(8) 普及啓発イベント等でモデルフォレスト運動をPR

- ・ **新緑祭 in 府民の森ひよし** (5/3～5) ※京都府と共催
府民の森ひよしにおいて、府民探鳥会、モノレール体験、木工教室等を開催
- ・ **京都大作戦 (太陽が丘での野外コンサート)**
(7/6～7) 「フォレスターうじ」、「森なかま」と共に活動のPRと緑の募金活動
- ・ **由良川市民講座**にパネル展示
(12/7) ※京都府中丹振興局、京都大学フィールド科学教育研究センターに協力
- ・ **京都環境フェスティバル (パルスプラザ)** にブース出展
(12/14～15)

(9) 木材利用ポイント事業の活用

府民ぐるみのモデルフォレスト運動を促進するため、木材利用ポイント事業の森林づくり・木づかい寄附対象団体として登録しました。いただいた寄附は府内の森林づくり活動等に活用します。

2 森林ボランティア活動の推進

① 竹の環プロジェクト開催 (5/11、10/19…両日とも雨天のため中止)

平成19年度から毎年春・秋の2回にわたり京大桂キャンパス内において竹林の整備やタケノコ掘り等を実施しています。今年度は残念ながら、2回とも雨天のため中止となりました。

② 「京の七夕」用の竹材提供活動を実施 (6/30 京大桂キャンパス)

「京の七夕」行事に必要な竹材を供給するために、会員等60名の参加を得て、京都大学桂キャンパス内にて今年4年目となる竹林整備を実施しました。

伐採した竹材は8月開催の「京の七夕」堀川会場で利用されました。



3 企業等の参加による森林づくり活動の推進

(1) 企業等からの寄付金による森林づくり事業の展開

企業等からの寄付を原資に、京都府森林利用保全重点区域等の森林整備を推進し、森林の公益的機能を確保するため森林づくり基金事業を設けています。25 年度は、それぞれの企業等が参加している森林づくり活動地への寄付により別表の 10 カ所で森林づくり事業を実施しました。

また、次の企業等から府内の森林づくりのために寄付をいただき、府内の森林整備等に活用しました。

寄付者	寄付金額 (千円)
コカコーラウエスト自販機	121

<別表 寄附金による森林づくり基金事業の状況>

事業実施地域	交付額 (千円)	事業実施地域	交付額 (千円)
長岡京市浄土谷	899	亀岡市旭町湯谷山	150
京都市右京区梅畑	335	亀岡市東別院町東掛桜峠地内	699
井手町多賀一ノ谷	475	南丹市八木町玉ノ井	559
宇治田原町立川御林山	705	南丹市八木町北広瀬	95
和東町大字湯船	835	南丹市日吉町天若	3,201
		計	7,953

(2) 企業等の参加による森林づくり活動の展開

25 年度は株式会社 JR 西日本 (Club J-WEST) が新たに森林づくりに参加され、府内での企業等の参加による森づくり活動は 35 ヶ所、38 団体に拡大しました。

1) 地域住民等と連携した協議会等 9 箇所

- 丹後モデルフォレスト地域協議会
- 毛原地域森林利用保全活動協議会
- 美山産官学公連携協議会 (モデルフォレスト推進プロジェクト)
- 西山森林整備推進協議会
- 山城モデルフォレスト推進協議会
- 宮津ふるさとの森を育てる協議会
- 神前モデルフォレスト推進協議会
- 天王山周辺森林整備推進協議会
- 井手町豊かな緑と清流を守る協議会

2) 企業・団体等による森林づくり活動の概要

京都モデルフォレスト協会、市町村、京都府等と協定を締結するなどにより、森林づくり活動を行っている企業等の位置図は、別添のとおりです。

① 活動の主な目的

活動の主な目的	企業等数	企業等名
環境保全 温暖化防止への貢献	20	東芝、NTTドコモ、積水化学工業、 エスペック、パナソニックフォト・ライティング、 KDDI、ニッセイ、住友生命、京都大学、 島津製作所、オムロン、BATジャパン、 マツシマホールディングス、モリカワグループ、 京都生協、JR西日本、 宮津ふるさとの森を育てる協議会、カシックス、 関西電力労働組合京都地区本部、京セラ
社会・地域貢献	14	村田製作所、三共精機、佛教大学、 全労済、平和堂、京都乙訓ロータリー、 ワタキューセイモア、三洋化成工業、グンゼ、 虎屋、陸上自衛隊、日東精工、 龍谷大学、京都銀行
水源林の保全	3	サントリー、コカ・コーラウエスト、 京都南ライオンズ
伝統行事への貢献	1	三井物産

② 活動の形態

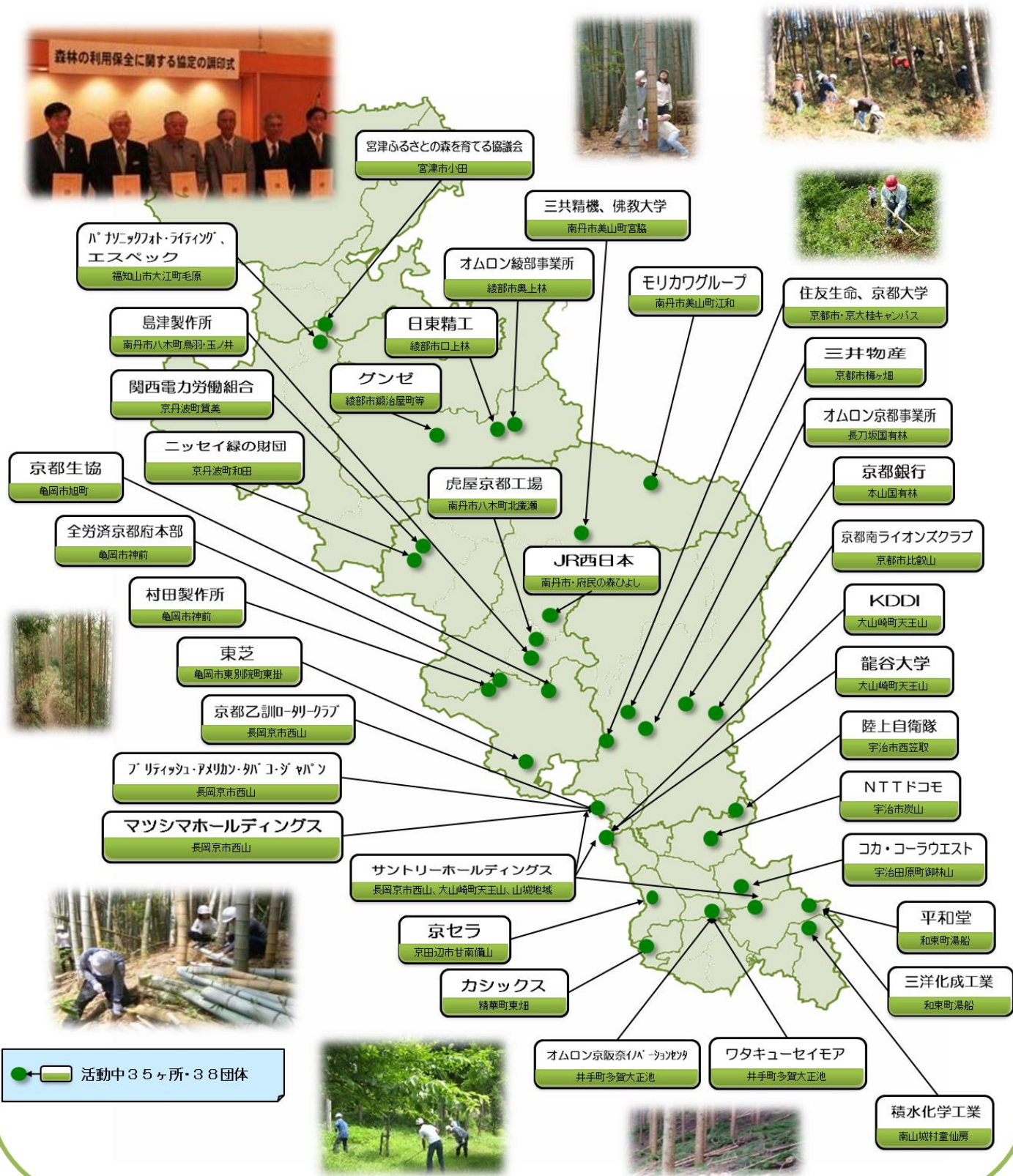
形態	企業等数
① 社員等のボランティア活動	24
② ボランティア活動と資金提供	13
③ 資金提供	1

③ 主な活動内容と年間の活動回数

主な活動内容	企業等数
広葉樹の整備	31
人工林の整備	14
竹林の整備	9
木工等	10
環境学習等	18

年間活動回数	企業等数
2回程度	31
5回程度	4
6回以上	3

企業参加の森づくり 実施地域等



4 緑の募金の推進

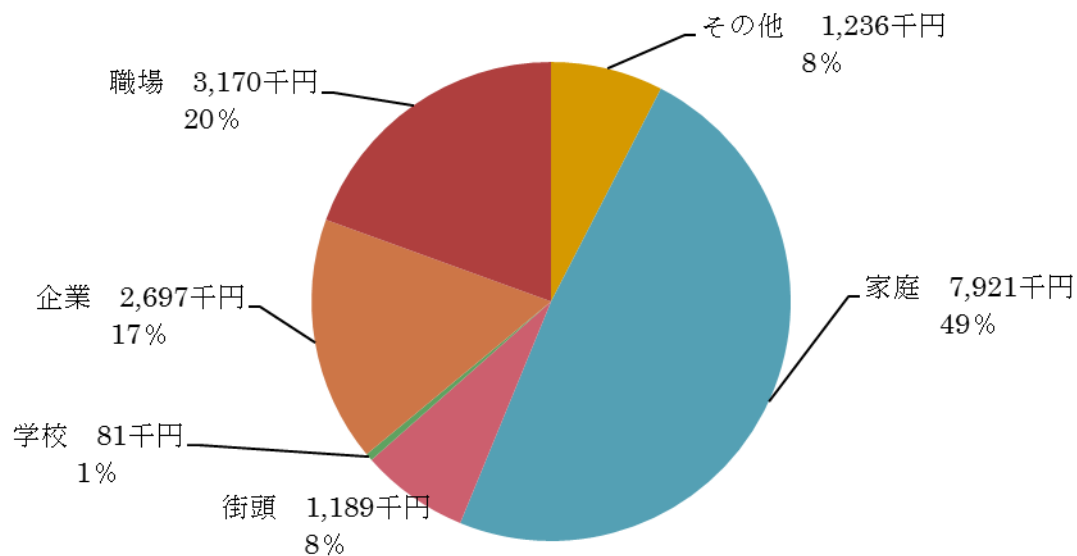
(1) 緑の募金活動の実施

平成 25 年度の緑の募金活動は、春募金は 3 月 1 日～5 月 31 日、秋募金は 9 月 1 日～10 月 31 日までを募金強化期間として、協会、京都府、市町村、関係団体並びに企業等との協力・連携の下、取り組みました。

家庭募金・職場募金が減少したものの、企業からの大口募金が増加したため、募金額については昨年の 98.7% 募金実績は 16,294,544 円、に止まりました。

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H25	20,000,000 円	12,449,604 円	3,844,940 円	16,294,544 円	98.7%
H24	20,000,000 円	13,135,538 円	3,379,163 円	16,514,701 円	95.2%
H23	21,000,000 円	9,634,668 円	7,704,566 円	17,339,234 円	98.0%
H22	21,000,000 円	15,021,715 円	2,673,013 円	17,694,728 円	89.7%
H21	20,000,000 円	15,713,844 円	4,016,411 円	19,730,255 円	108.1%
H20	20,000,000 円	14,963,309 円	3,280,168 円	18,243,477 円	107.2%
H19	20,000,000 円	14,350,716 円	2,671,045 円	17,021,761 円	111.4%

緑の募金の方法別内訳



・ 企業のCSR活動の一環としての募金活動

企業 CSR 活動の一環として、積極的に緑の募金キャンペーンを展開いただきました。

<キャンペーン>

- ・ 日本ハム西販売(株)：『森の薫り』関連商品の販売数に応じて募金
- ・ 京都府ホンダ会…加盟店に緑の募金を呼びかけ集約
- ・ 日本電産(株)…社員食堂「募金ランチ」により売上の一部を募金
- ・ (株)ブックレット…本等の買取点数により募金

・ 飲料自動販売機で募金活動

飲料会社と自動販売機設置オーナーとで契約後、毎月、売上に応じて緑の募金を寄付いただいております。現在、府内 51 社の協力を得て設置されています。平成 25 年の自動販売機による募金額は 1,302,306 円となっています。

【協力飲料会社】

ダイドードリンコ(株)、サントリービバレッジサービス(株)、(株)伊藤園、アサヒカルピスビバレッジ(株)、関西キリンビバレッジサービス(株)、ジャパンビバレッジサービス(株)、サンフーズオペレーション(株)

(2) 緑の募金による各種事業

緑の募金は、学識経験者等で構成する「緑の募金運営協議会」で審議（2/13 に開催）の上、事業実施希望者を公募するなどして、森林整備、緑化推進、緑の少年団活動等の森林環境教育、緑化や森林づくりの普及啓発等に活用しました。

① 森林整備（1,131 千円）

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護活動に対し、資材等の購入に必要な経費及び森林整備活動や研修の経費について助成しました（森林愛護運動推進事業）。

また、森林ボランティア団体等による、京都府民参加型の森林整備・保全活動等を支援するための助成金を交付しました（豊かな森林づくり活動支援事業）。

【豊かな森林づくり活動支援事業 25 年度取り組み団体】

団体名	事業名
森林ボランティア フォレスターうじ	未来に残そうきれいな地球(森林整備に励もう)
天王山周辺森林整備推進協議会	天王山マツ山再生プロジェクト
せいか里山の会	せいか里山の会自然環境保全活動
里山の暮らし ECO TASK TEAM	「里山で遊ぶ、里山と遊ぶ」(秋編)
京都・薪ストーブ友の会	吉田山 ドングリの木を育てよう
志賀郷地区自治会連合会	風雪被害地における林床植生復元のためのモデル植栽事業
特定非営利活動法人日本農林再生保全センター	森サポ@美山 ～多くの人が集う里山づくり～
虎屋モデルフォレスト推進協力会	自ら考え創造する活力を生み出す里山づくり
NPO 法人胡麻地域振興会	「丸山」再生事業

② 緑化推進（3,968 千円）

ア 地域緑化

地域での緑化を推進するため、府内の老人クラブに委託して養成されたサツキツツジの苗木 224 本と京都府緑化センターから購入した桜苗木 175 本を地域の団体に無償配布し、公園や道路沿線、公共施設等に植栽しました。

<緑化樹委託先>今山長春クラブ（南山城村）、船枝紫雲クラブ（南丹市）

<主な配布先> 文化パーク城陽、笠置キャンプ場、球環境子ども村隣接地（亀岡市）、南丹市八木町船枝地内 など

イ 学校緑化

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小中学校 20 校に対し、植樹木の購入等に要する経費を助成しました。

学校名	学校名	学校名
京都市立桂坂小学校	城陽市立富野小学校	南丹市立富本小学校
京都市立伏見南浜小学校	宇治市立御蔵山小学校	福知山市立成和中学校
京都市立下京中学校	小中一貫校宇治黄檗学園	福知山市立修斉小学校
京都市立西院中学校	八幡市立男山東中学校	福知山市立遷喬小学校
京都聖母学院中学校	八幡市立有都小学校	舞鶴市立由良川小学校
向日市立第4向陽小学校	京都府亀岡市立千代川小学校	与謝野町立桑飼小学校
長岡京市立長岡第三小学校	亀岡市立南つつじヶ丘小学校	

<GGG((公社)ゴルフ緑化促進会)緑化協力金による学校緑化>

京都市立静原小学校

<ローソン緑の募金による学校緑化>

本年度は該当校なし

ウ まちなかの森づくり事業

緑の募金を活用して、森や緑の少ない街中において、暮らしに潤いを与える緑の環境づくりを進め、府民等の森林や緑の大切さの認識を広めるため、身近な森づくりとしての植樹活動を支援するために助成金を交付する事業を行いました。

【25年度取り組み団体】

学校法人真言宗洛南学園 新たに開校する学校（洛南小学校）の緑化

（ドングリの実のなるカシ類の植樹による「緑ゾーン」、リンゴなど実のなる木や茶などの植樹による「学びゾーン」の設置）

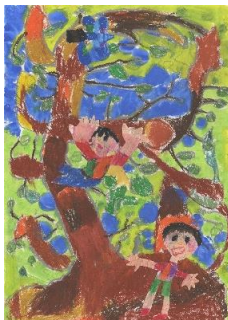
エ 緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

京都府と共催で、府内小中高校の生徒等を対象に緑化及び愛鳥ポスターコンクールを実施しました。上位入賞者の作品は、8月9日から12日までイオン洛南ショッピングセンター（京都市南区）で展示するとともに、表彰式を開催しました。また、全国応募のポスター原画コンクールに応募しました。

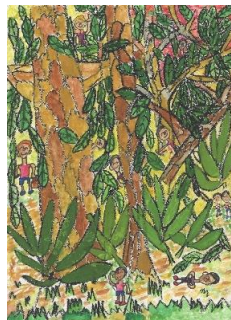
応募総数 緑化運動ポスター：183校 1,365点

愛鳥週間ポスター：196校 1,386点 計 2,751点

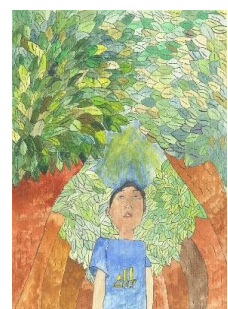
★平成26年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入選作品



馬嶋涼太さんの作品



黒田彰太さんの作品



石角空大さんの作品

エ 緑の少年団等育成

森林や緑の大切さを学習するための緑の少年団の活動支援を行いました。

今年度新たに夜久野学園緑の少年団が設立され、新規結成支援助成金を交付しました。

③ 地域での取組支援(緑の募金交付金) (9,615 千円)

地域の緑化推進団体(緑の募金支援団体)が、それぞれの地域で森林整備、植樹祭、緑の少年団育成等の森林や緑を守り育てる取組みを実施するための経費として、各団体の緑の募金実績の75%を交付するとともに、緑の募金法施行規則第6条に基づき(公社)国土緑化推進機構に中央交付金を交付しました。

平成25年度 緑の募金交付金一覧

交付先	交付額 (千円)	主な取組
京都・乙訓緑化推進委員会	1,265	森林ボランティア団体活動支援、地域緑化、学校緑化、緑化推進啓発活動、募金活動推進等
山城モデルフォレスト推進協議会	1,406	森林ボランティア団体活動支援、愛鳥モデル校活動助成、BS・GS等への活動助成、森林整備・緑化推進啓発活動ほか
(公財)亀岡市都市緑花協会	1,042	苗木・プランター配布、花づくりコンクール、緑の少年団活動資材助成等
南丹・京丹波林業振興会	436	緑の少年団・BS・GSの育成、緑化樹の苗木配布
福知山緑化推進委員会	1,190	森林ボランティア団体活動支援、地域緑化事業、福知山地方植樹祭、緑の少年団活動等
舞鶴市緑化推進委員会	1,953	緑化活動団体支援事業(公募)、地域緑化、学校緑化、植樹祭開催、青少年の団体育成活動助成等、緑化啓発活動等
綾部緑化推進委員会	494	苗木配布、緑の少年団活動助成、緑化啓発活動等
与謝地方林業振興会	403	地域の植樹活動支援、学校緑化推進等助成、緑の少年団活動等
丹後地方林業振興会	103	記念植樹、都市と農村を結ぶ緑化事業等
小計 9 団体	8,292	
(公社)国土緑化推進機構	1,314	

24年度から(公社)国土緑化推進機構への交付金は、東日本大震災被災地域の復旧・復興を支援するため、従前の募金額の3%+500千円から5%+500千円に引き上げられています。